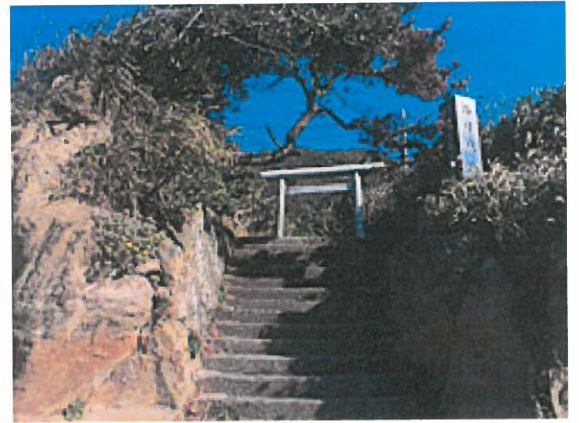


勝浦ロータリークラブ週報

NO13号 通算2420回 (2014~15年)

平成26年10月17日発行 (10月10日の例会報告)

八幡岬の先端三方海に臨んだ断崖に勝浦城址があります。築城時期については様々な伝承がありますが、城郭の形態をなしたのは、正木時忠からではないかと考えられます。それ以前は真里谷武田氏の出城か砦であったと考えられます。正木時忠がいつ侵攻してきたのかは不明ですがおおよそ天文8年(1539年)から天文10年(1541年)にかけてではないかと考えられています。正木氏は時忠から時通・頼忠と続きますが天正18年(1590年)小田原落城により関東が徳川家康の支配下に置かれるとほどなく植村泰忠に接収されることとなります。現在、郭内、木戸脇、内宿、二のくら(廊)、三のくらなどの地名は残っていますが跡も八幡岬公園として生まれ変わり、お万の方の銅像が青い太平洋を見つめています。



LIGHT UP ROTARY~ロータリーに輝きを~

2014~15年度 国際ロータリーRI会長 ゲイリーCKホアン

第2790地区ガバナー宇佐見 透 第5分区ガバナー補佐 望月 眞

地区委員 川名光俊(会員増強・退会防止副委員・館山) 伊藤正人(R財団・鴨川) 関一憲(R財団・勝浦)

勝浦RC会長: 中村 満 幹事: 渡邊 ヒロ子 例会場: 東急ハグエストクラブ 勝浦

事務局: 〒298-0124 勝浦市墨名 801-11 Tel: 0470-73-4659 Fax: 0470-73-0759

クラブ会報委員長: 関 一憲 副委員長: 神村 彰男 委員: 渡邊 昌俊

今後のプログラム予定

10/24 ホセ・ゴンザレス君 米山学友卓話 10/31 水野敬泰君卓話
11/7 関一憲君地区R財団委員卓話 11/14 インターシティ・ミーティング
本日のプログラム 安藤三佐夫氏卓話 「命燃ゆ」著者

会長挨拶 中村 満君

先日の、公式訪問例会が無事にすみ、会員の皆様は大変お疲れ様でした。それと同時にご協力誠に有難うございました。宇佐見ガバナーのアドレスをお聞きし、地区の強調事項並びに定款等の指摘ご説明頂きました。それらをふまえこれからの活動に活かしていきたいとおもいます。

今年度も既に3ヵ月が終って残り9ヵ月です。各奉仕クラブの活動が計画通りに実り多い活動になることを期待しています。

さて今月は10月 職業奉仕月間・米山月間 (Vocational Service Month) です

RI理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。

クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベ

ルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、があります。本日は地区職業奉仕土屋俊夫委員長に御出でいただきました。のちほど卓話がいただけます。宜しく願いいたします。以上で会長挨拶をおわりにさせていただきます。



委員会報告

○斉藤麻美子米山記念奨学会委員長○ 今月は米山下巻です。一人当たり15000円目標です。ご協力よろしくお願い致します。

ニコニコボックス親睦活動委員長 磯野 武君

★ 本人誕生日

○神村彰夫君○ 10月4日で67歳となりました。

★ 自主申告

○高梨薫敏君○ 鹿児島で同窓会をやることになりまして、来週はお休みになります

○釜田英之君○ 娘が結婚します。30歳のときの子どもで、来週の14日に兵庫県の伊丹で行います。

土屋利夫地区職業奉仕委員長卓話 (抜粋)



地区職業奉仕委員会、大原ロータリークラブの土屋でございます。宇佐見ガバナーは、「自らの職業に基づく人としての信頼回復」そして、「和して同ぜず」と提唱されております。シェルドンの奉仕の哲学は、体得する修練の場がロータリーの主とした活動の場であり、そこで培養された奉仕の心をもって職業生活の場で実践に移す事、自己研鑽しながら職業生活に適用する。この活動こそが職業奉仕であると述べています。

職業奉仕の目的は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かして行く事と言われております。ロータリーが発足して間もなく、シェルドンが提唱した「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーの下、ロータリアン一人一人の責任として、各々ロータリアンが各自の職場で個人的な貢献が行なわれて参りました。

世界中のロータリアンが職業奉仕をどのように定義しているかをご紹介してみたいと思います。

「職業奉仕とは生活の糧を得る方法を生きがいに変えるもの」

「職業奉仕とは職場で、そして生活の中で、ロータ

リーを生かしていく事」

「職業奉仕とは職業に誇りを持ち、正直かつ品位のある方法で職業を実践しようとするもの」

これらの定義から、職業奉仕には様々な取り組み方がありますが、基盤は「ロータリアンは職業を通じて社会に貢献しなくてはならない」という事になるでしょう。皆さんは如何お考えでしょうか。

日本のロータリークラブをあくまで職業奉仕の団体として、守り育てて行く事も大切と考えますが、職業奉仕はあくまで、個人奉仕であるという原則は貫いていくべきだと思います。

最後に、過去を振り返り、前とどこが変わったか、指折り数えていくつ挙げる事が出来るでしょうか。良くも悪くも、どこかが変わってその結果に変化が生じます。変えなければ、変わらなければ、その結果に変化はないはずで。どんな小さな事でも良い方向に向かうよう、今までとは違った考え方、方向性を導いて参りたいと思います。

職業人としてのロータリアンの心構えをロータリーの倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず、一般の職業人にも理解できるように簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。即ち、皆さんのロータリアンとしての事業活動、家族や従業員、近隣の方達とのお付き合いやお客様との関係の中で、この「四つのテスト」が展開されているかと言う事は重要な事となります。皆さんに提供している「四つのテスト」というのは、これを実行する事が、職業奉仕である事を強く認識をいただき、行動や経営に積極的に取り込んで、ロータリアンとしての活動や職業生活の場と意識する事によって、自己研鑽にもつながる事と確信いたします。

会社経営を支える3本柱とは!

- ① 会社は常に挑戦し、変化し、活性化していかなくてはならない。
- ② 顧客の立場を優先して考えるのが経営
- ③ お客様との信頼関係を維持する社員が商品となる

お客様に接する社員こそが、商品だと思います。お客様に信頼される社員を育成する事こそ、不況の今、人を育てるチャンスだと思います。そうして、新しい需要創造を起こす前に会社の足元を整える事。今からでも始められる事だと思います。

青出席報告 手塚明宏君

欠席：浅野君 吉野君 北村君 古川君
MU：関一憲君 佐久間君 手塚君 西川君 小林君 関正夫君 斉藤豊久君 渡辺幸男君 塩田君 吉田君

	10/10	10/3	9/26	9/19
会員数	37	37	37	37
出席数	22	28	22	28
欠席数	4	4	7	4
MU	11	5	8	5
出席率	89.19%	89.19%	81.08%	89.19%